

## 令和5年度 第1回 浜松市立瑞穂小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年5月18日（木） 14時30分～16時10分
- 2 開催場所 瑞穂小学校 会議室
- 3 出席委員 伊藤 雅文、佐々木 美香、石野 和彦、村松 幸男、清水 淳子、伊藤 文雄、稲見 正隆、藤原 四郎（学校支援コーディネーター）、鈴木 里佳（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男、嶋田 哲也（北部協働センター）
- 6 学 校 柳瀬 美穂（校長）、木下 栄二（教頭）、中西 伸（CS 担当教職員）、片山 里紗（CS ディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし
- 9 協議事項
  - （1）議長の選出について
  - （2）瑞穂小学校 運営基本方針について
  - （3）夢育やらまいか事業 CS 加算分に対する意見書について
- 10 会議録作成者 CS ディレクター 片山 里紗

### 11 会議記録

司会の教頭から委員総数9人のうち8人の出席があり（1名遅刻で参加）過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。また、別紙資料に基づき、浜松市学校運営協議会規則、同自己評価実施要項について説明があった。

#### （1）会長・副会長の紹介

司会の教頭から、昨年度の協議会において、任期期間継続により、会長は伊藤雅文氏、副会長は佐々木美香氏が務める旨紹介がされた。

#### （2）議長の選出について

議長の選出について委員から藤原委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

#### （3）瑞穂小学校 運営基本方針について

議長の指示により、校長から別紙資料に基づき、学校運営基本方針について説明があった。

要点は以下の通りである。

## 学校教育目標「自分らしさを輝かせる子」の育成について

子供たち1人1人が今の自分を認め、自分の頑張りを自分でほめる、それを他者に認められることが自己肯定感につながり、それが「自分らしさ」の表現につながると考えており、そのことが学校教育目標に表れている。

そして、1人の担任が35人の子供を抱え込むのではなく、学年職員が学年の子供たちを育てるという学年経営が要であり、各学年で育てたい子供の姿を職員間で共有している。

### ① ひとみキラキラプラン（確かな学力）

子供がつくる授業、受け身ではない、やらされ感のない、子供自身が「やってみよう!」「わかった!できるぞ!」という実感を伴う授業により確かな学力が得られると考える。

### ② こころほのぼのプラン（豊かな心）

自分が誰かの役に立てる、自分の役割はこれだという意識を持たせ、自己有用感を大切にしていく。

係活動を各クラスで、委員会活動を5年生から。また、たてわり活動を通して6年生はリーダーとして何ができるのかを考え活動している。そのような意欲あふれる活動が豊かな心を育むと考えている。豊かな体験活動について以下のとおり委員から様々な意見があった。

- ◆子供との交流によりお互い素直になれるので、高齢者と子供の交流の場を増やしてほしい。子供だけでなく、親も見学、参加できれば一緒にそこでやった遊びを家に帰って親子でできる。PTAと地域がもっとつながれる良い機会になると思う。(伊藤文雄委員)
- ◆低学年の時だけでなく高学年になっても、学年として高齢者と子供の交流の機会があればさらに良いと思う。(鈴木里佳委員)
- ◆コマ回しなど昔の遊びを親はうまく教えられないと思うので、そういったことが得意な高齢者の方々にもっと教えてもらいたい。(稲見正隆委員)
- ◆手芸ボランティアを募っているが、なかなか増えない。保護者の中でもボランティアに参加したい方がいるかを学校側から聞いてもらうことは可能か?(清水淳子委員)

◇花の会に今まで保護者のみ対象だったものを今回地域へ広げて募集した。ボランティアの支援について、今後保護者と地域をどうつなげていくかが課題になる。(校長)

### ③ げんきモリモリプラン（健やかな体）

新型コロナウイルスの影響から、児童の体力低下があらわれている。体育的活動、行事を大事にしていきたい。

校長より「知・徳・体」の力を育てるための4つの重点項目についても説明があった。また子供たちが地域行事への参加や貢献を通し、人とのつながりや地域そのものから学ぶことで、豊かな体験が豊かな学びになると考える。そのためにコミュニティ・スクールでは学校支援体制をどう作ったら良いか本協議会で熟議し、より良い学校づくりに生かしていきたいと考えている。

協議の結果、全員異議なく学校運営方針を承認した。

#### (4) いじめ防止等のための基本的な方針について

教頭より、別紙資料「浜松市立瑞穂小学校いじめ防止基本方針」に基づき説明があった。要点は以下の通りである。

市教委の指示のもと「いじめ防止基本方針」を見直し、作成した。いじめを受けた子供の立場に立ち対応していく。校内で担任、教職員で様子を見ると同時にアンケートをとりながら状況を把握していく。個々で対応してだけでなく、学校として月1回校内の「いじめ対策委員会」を開き定期的に情報交換、共有の場を設け未然防止に努める。それだけでなく何か問題があった際には、随時対応し、その後につなげている。

本校の実態と対応については、以下の通りである。

- ・ほのぼのアンケート  
子供たちが生活上で困っていることなどを相談できるアンケートを毎月実施している。
- ・たてわり活動  
異年齢間での人間関係づくりを実施している。
- ・スマホやゲーム機器による誹謗中傷で他者を傷付けないための「情報モラル講座」を毎年開催している。

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

#### (5) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

議長の指示により、教頭より別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業予算について説明があった。その上で、本校ボランティア団体「花の会」の活動における、必要物品等の購入に関し、同事業予算から算出していただきたく、学校運営協議会として意見を交わしたいとの説明があった。花の会ボランティアについて、以下の質問、回答があった。

##### 【質問】

- ・ 今回ボランティアの募集を地域へ広げるにあたり、高丘地区へ回覧されるのか  
(伊藤会長)

【回答】

- ・ 今年度は回覧ではなく、地域のシニアクラブに声掛けをした。来年度は御意見を伺い、回覧をすることも御検討いただきたい。(校長)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(6) 報告

- ・ 藤原 四郎氏より、花の会について報告があった。  
保護者対象だった花の会のボランティアを地域へ枠を広げ、地域のサークルの方などへお願いをし、現在26人の参加希望が出た。
- ・ 鈴木 里佳氏より、図書ボランティアについての報告があった。  
現在、保護者メインで活動をしている。年々ボランティアの数が減ってきている。読み聞かせとなるとハードルが上がるような印象があるため、活動を保護者の方々に見学してもらえる機会があると良い。
- ・ 金管バンド部について校長から報告があった。  
協働センターから浜松市交響楽団の方を御紹介いただき、指導していただけることになった。

その他報告事項等

司会の教頭より、次回の協議会は7月6日(木) 14:30から会議室で開催する旨説明があった。

また、各回の熟議テーマについては今後、変更する場合もある旨、併せて説明があった。

以上